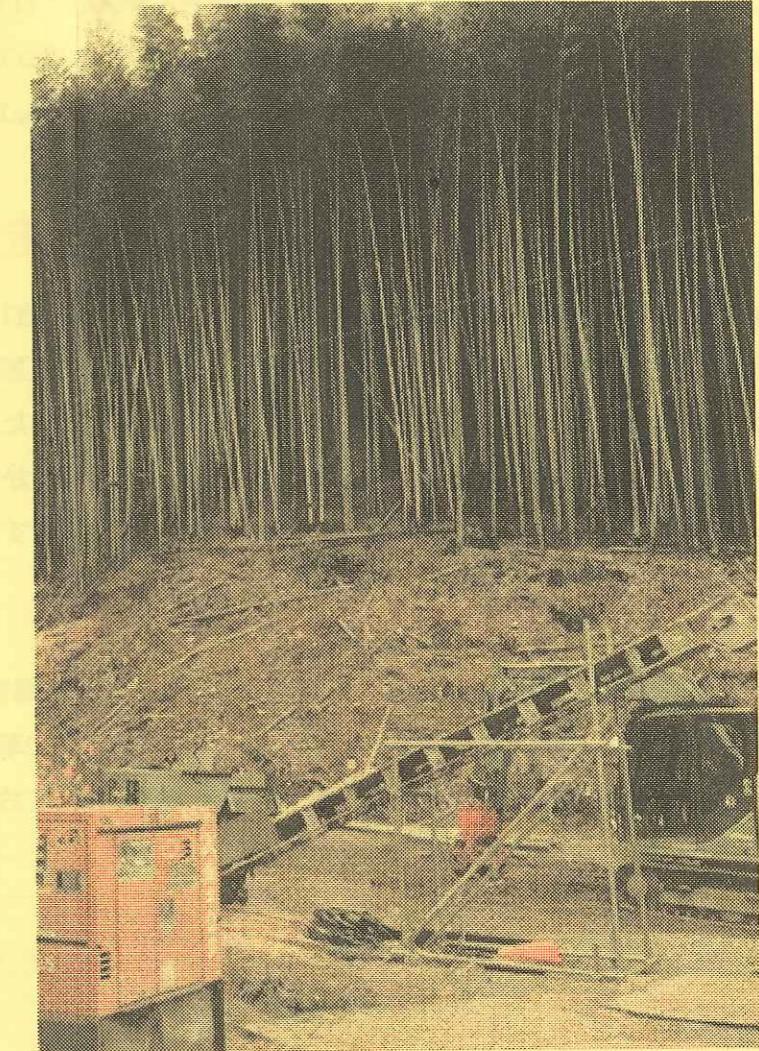
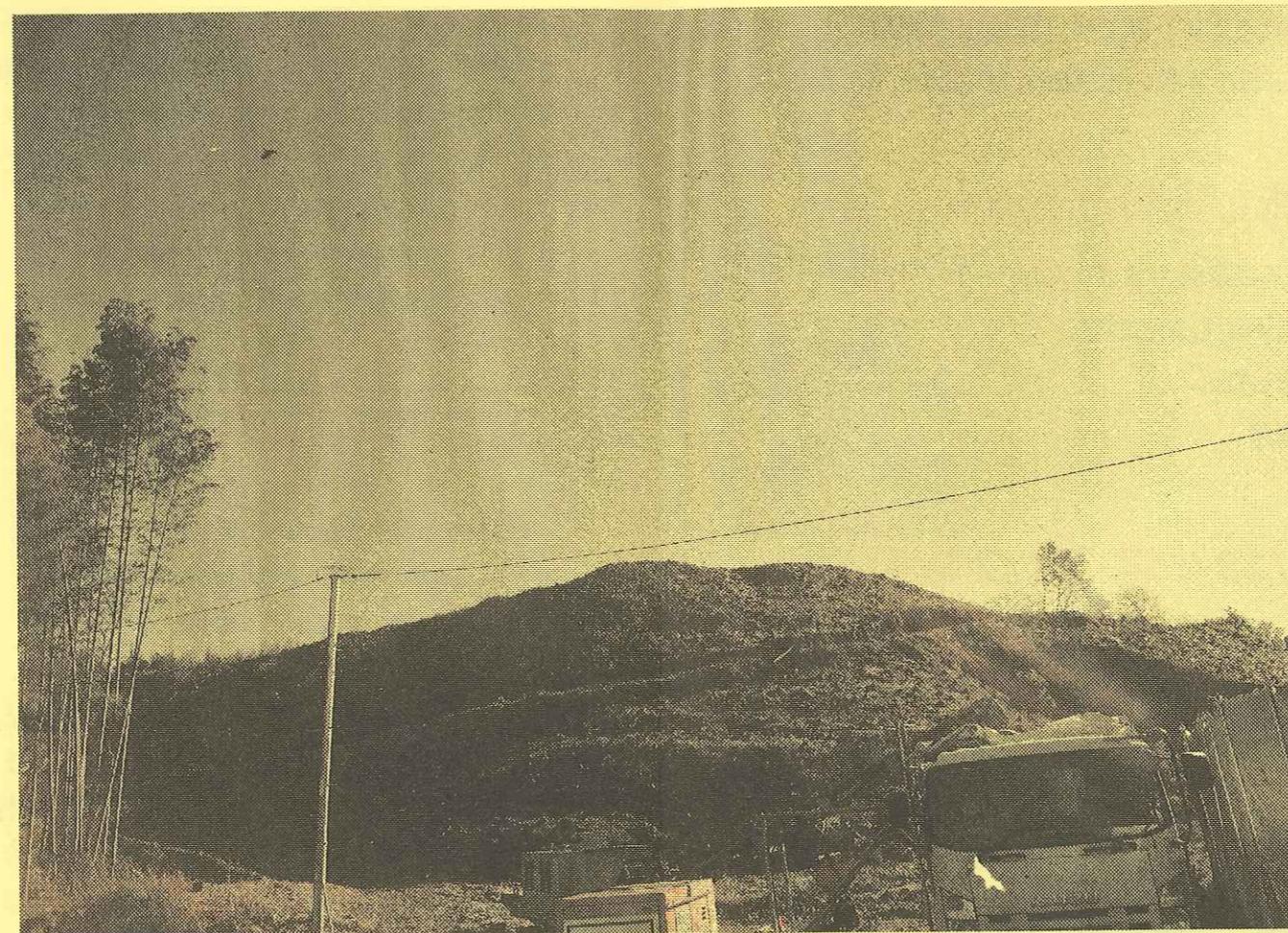


竹だけだったけど



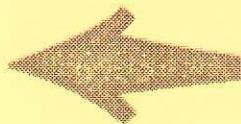
← 竹を切る 竹を切る →

竹だけだったけど

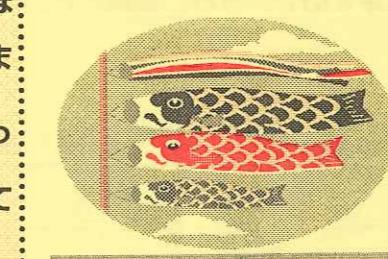
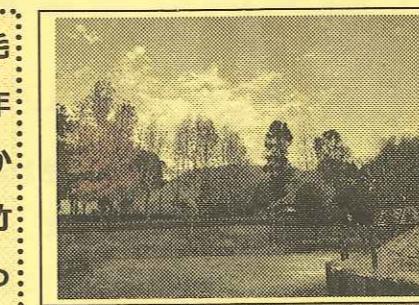


徳修館裏山の竹やぶがきれいになりました！！

10月から12月にかけて、文化財「徳修館」の裏山である、旧熊毛北高校グラウンド跡地の竹の伐採が行なわれました。これは平成26年度にずっと子どもがいるまちプロジェクトで行った集落調査の結果から、県の事業協力を受けて実現したものです。（実施主体 山口県 竹燃料化実証実験）ここ20年余り、大部分が手つかずであった丘はすっかり竹に覆われてうっそうとしていましたが、作業の結果、見違えるほどすっきりしました。頂上からは安田の里から千田郷まで一望できます。（伐採した竹は5,000本以上！）昔の高校を御存知の方にとてはとても懐かしい景色のようです。今後は所有者の御意向を踏まえて活用方法を検討してきます。



竹を切る



竹を切る

◎みつおずっと子どもがいるまちプロジェクト にゅーす (9~12月総集編)

☆祝！2組目の移住が決定しました！！(森河内自治会)

H27.4 に東善寺下自治会に移住第1号の柚洞さんが入居されて8か月。待望の第2号の移住者の方が森河内自治会の空き家への入居が決まりました。東京よりUターンで戻ってこられますご一家です。(旧徳山ご出身) 小学校4年生、2年生のお子さんがいらっしゃいます。これによりH28.1より三丘小学校の児童数は50名から52名となります。

☆移住予定のお子さんの授業見学を実施しました(10/13 三丘小)

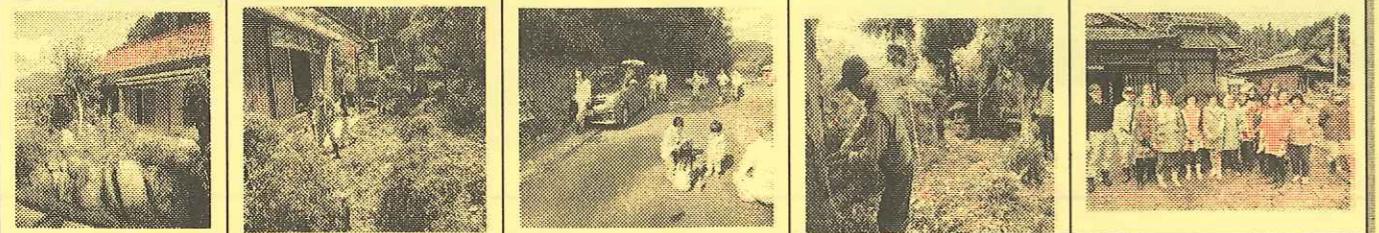
10月13日の三丘小学校の参観日に合わせて、移住を希望されているご家族のお子さんが、2年生の授業の様子三丘小に1日体験入学をされました。これは、三丘小学校のご協力の元実現したもので、実際の授業に参加して頂き、保護者の方には給食も体験していただきました。

緊張気味だった子どもたちもすぐにお友達が出来たようで楽しかった様子。

学校の雰囲気を見てもらうにはとても良かったように思います。

☆空き家整備を実施しました☆ (9/19 小深・11/7 森河内)

子どもプロジェクトでは、9月、11月の2回、空き家の整備を行いました。9/17は小深自治会のご協力を得て、11月7日は森河内自治会のご協力を得て入居予定の空き家の草刈りや、片付けを行いました。どちらも住まれなくなつてしまふ時間が経過しており、草や庭木が大きく伸びており作業は大変でしたが、どちらもとてもきれいになりました。ご協力頂いた皆様本当にありがとうございました。



↑ 小深空き家整備

↑ 森河内空き家整備

☆プロジェクトの取組がNHKで放送されました☆ (11/17)

11月17日放送のNHKの情報番組「情報維新やまぐち」でプロジェクトの取組の様子が放送されました。取材は9~10月中に行われ、小深地区の空き家の片づけの様子や、会議の様子の取材を受けました。放送後公民館等に問合せの電話もあり、大変喜ばしいことです。今後も各メディアに積極的に情報発信を行いたいと思います。「見逃した！みたい！」と思われた方は、公民館にDVDを置いてありますので、ぜひご連絡ください。



☆三丘地区里の案内人さんが決定しました。

みなさん「里の案内人制度」は御存知ですか？

周南市では、三丘地区を含めた市内の中山間地域に移住してこられる家族と地域の橋渡しをして頂く、地域ボランティア「里の案内人制度」を行っています。市などから移住の相談があった場合、公民館を通じて、案内人さんを介して移住される方の相談を受けるなど、移住に不安がなくなるように仲介をしていただきます。みつおずっと子どもがいるまちプロジェクトでは昨年より三丘地区の案内人さんの選定を行い、この12月3日に市主催の研修を行い、認定書を交付いたしました。これからどうぞよろしくお願い致します。

☆三丘地区里の案内人一覧☆

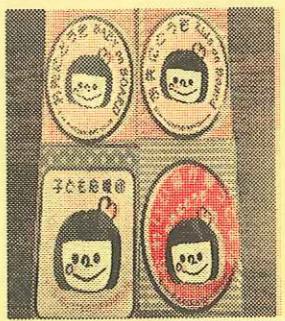
氏名	自治会	住所
藤井 里美	和田	周南市大字小松原2132-1
樺山 隆	東善寺下	周南市大字小松原1339-1
矢野 好広	小深	周南市大字小松原650-1
橋本 徹	筏場	周南市大字小松原159
石井 均	阿下	周南市大字小松原952
徳永 豊	川尻	周南市大字小松原1722-3
松崎 瞳子	広末	周南市大字小松原2796-3
山岡 富士男	中村	周南市大字安田95-1
田村 哲夫	宮河内	周南市大字安田442-1
石光 英隆	石光下	周南市大字安田529
松本 交示	森河内	周南市大字安田1299-7



☆頑張ってます！産業部会&学校部会☆

みつおずっと子どもがいるまちプロジェクトでは、定住の他に、産業、学校、環境部会があります。

今回は産業と学校部会の紹介です。産業部会は、みなさん御存知キッズステッカーを作成したり、市内外のイベントに出店等を行い、プロジェクトのPRと商品開発等に力を入れています。学校部会は、三丘小学校と連携し、昨年は、小学校5年生が地域を探検し子どもたちの「住みたい三丘」を発表しました。今年度は、昨年の発表の中で出てきた「自分たちで特産品をつくる」ことを学校の授業の一環として行いました。ニンジン、カボチャ、ピーマンのジャムを作り、三丘小のバーや三丘徳修館まつりで試食会を行ったりしています。



↑ キッズステッカー

4種類に増えました。

「孫を乗せてますバージョン」好評です。

→PTAバザーでの試食会の様子です



☆みんなに知つちよつてもらいたい！三丘地区の子どもの数の現状☆

(H27.4とH28.3(予定を含む)比較)

学年	年齢	H27.4.1	H28.3.31(予定含む)
1		9	10
2		12	13
3		9	9
4		4	7
5		13	13
6		3	5
現小1	7	4	4
小2	8	9	11
小3	9	9	9
小4	10	7	8
小5	11	8	8
小6	12	12	12
合計		99	109 ↑
未就学児計 (1~6歳)		50	57

期間中

世帯数 5世帯増加(転入)

(内訳 県外 2 県内 3)地区 小松原1 安田4

空き家減少 ▲3軒/45軒(小松原▲1 安田▲2)

(*安田地区交渉中1軒含む)

プロジェクトが始まり、約1年半立ちました。その間今年の柚洞さん一家の移住以降空き家への移住を始め、様々な形で三丘地区に移られてこられる方が増えています。現在交渉中で3月に入居希望の方もいらっしゃいます。短期間ですが、着々と成果も上がっています。